

## 北海道地区自然災害科学資料センター活動報告メモ

### (平成24年度)

#### (1) 一般活動（地区幹事会・センター運営委員会）

第1回幹事会：平成24年8月23日（木）15：00～16：00 参加人数：7名

##### ◇議題

###### 1. センター長交代について

第1回幹事会出席委員の賛成により、上田センター長から岡田委員へのセンター長の交代が承認された。

###### 2. 地区部会／資料センターの組織成り立ちについて

岡田新センター長より、自然災害研究協議会北海道地区部会及び北海道地区自然災害科学資料センター室の成り立ちについて、

- ・自然災害研究協議会北海道地区部会は京都大学防災研究所の組織に属している。

- ・運営費は、毎年防災研が文科省に申請する「拠点研究経費」の分担金である。

等の説明があった。

###### 3. 規約の整理

昭和62年に作成された「北海道大学工学部付属自然災害科学北海道地区資料センター内規」及び「北海道大学工学部付属自然災害科学北海道地区資料センター運営委員会内規」は、現組織に整合しないため、修正が必要であるとのことで、岡田新センター長より修正案が出され、一部修正（内規第6条の2行目、「第8条」を[第10条]に修正）の後、出席委員には承認された。

当日欠席の委員にはメールにて確認をし、全委員の承認をもって施行されることとする。

###### 4. 委員の追加について

- ・加賀屋委員（工学研究院）、平川委員（地球環境科学研究院）、浦野委員（農学研究院）の後任について。浦野委員は、農学研究院より後任委員を選出。
- ・岡田新センター長が、中嶋唯貴先生（工学研究院 都市防災学研究室）を委員に推薦。出席委員により、承認された。

###### 5. センター（地区部会）の業務確認

岡田新センター長より、センター（地区部会）の業務についての確認があった。

①資料収集整理

②研究ネットワーク構築（地区部会）

③報告書発行

④幹事会・総会・地区フォーラムの開催

## 6. 業務提案

岡田新センター長より、業務の提案があった。

### ①資料センターの利用向上を目指して

よく利用される図書の PDF 化／図書の購入（写真集、地図、資料的な図書）

### ②WEB 情報公開

研究者ネットワーク／センター報告の PDF 公開／研究室リンク／各種講演会・シンポジウム等の企画案内

### ③委員への情報のメール配信

### ④報告書に企画ものを検討

- ・災害関係の各研究室の体系的紹介

- ・退職教員の最終講義録、講義ノート

- ・毎年開催される地区フォーラムの報告を掲載。

- ・気象災害は突発災害になりにくいため報告として上がるが少ない。札幌管区気象台の気象業務内部報告書のエッセンスを報告してもらってはどうか、また協力員として気象台職員を推薦してもらってはどうかとの意見が出された。

### ⑤謝金付き講師の招聘、議事録を報告書に掲載

## 7. 事務契約職員の業務確認

### ①HP の管理

### ②幹事会の日程調整・資料作成等

### ③資料貸し出し管理

### ④PDF 化作業

### ⑤センター報告作成・発送・名簿更新

⑥災害関係の新聞記事（あるいは WEB ネット記事）の切り抜きを資料として作成してもらってはどうかとの意見が出された。

## 8. 自然災害研究協議会報告

平成 23 年度第 3 回協議会（緑川部会長出席）及び平成 24 年度第 1 回協議会（高井委員代理出席）について高井委員より報告された。

## 9. 平成 23 年度決算報告

野田事務員より、平成 23 年度の決算が報告された。

## 10. 平成 24 年度予算案

野田事務員より、平成 24 年度の予算案が報告された。

スペースチャージを予算に組み込んでいなかったので、後日修正する。

また、昨年度のスペースチャージも上田前センター長の財源より引き落とされていたため、今年度の自然災害資料室の財源より引き落とされる予定。

1 1. 今年度の地区フォーラムのテーマについて

尾関委員に昨年度の岩見沢豪雪をテーマにフォーラムを開催できるか検討していただくことになった。

1 2. センター報告 26 号寄稿者候補について

具体的な候補は挙がらなかったが、上記議題 6 ④と関連させ、検討を継続することとなった。

1 3. 2013 年度自然災害学会学術講演会について

岡田新センター長より、2013 年度のフォーラム開催について説明があった後、高井幹事を中心に開催時期・場所・フォーラムについて案を練ってもらうことを了承。

経費申請は 2 種類あり、京大防災研への申請締切は 12 月 16 日、(財) 防災研究協会への申請締切は来年 3 月頃。

**第 2 回幹事会：平成 24 年 1 月 24 日（木）15:00～17:00 参加人数：14 名**

○幹事会・運営委員会成立条件の確認（2／3 以上の委員の出席により成立）

○新任委員紹介（農学研究院・鯫島良次先生、工学研究院・中嶋唯貴先生）

◇議題

1. 前回議事録の確認

第 1 回幹事会議事録を基に、地区部会・運営委員会について岡田センター長より改めて説明。

委員より、自然災害研究協議会の文科省の直轄の担当部署はどこなのかという質問があり、後日調べて報告することとなった。

2. 自然災害研究協議会報告

緑川部会長より、9 月 11 日に開催された平成 24 年度第 2 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会及び第 49 回自然災害科学総合シンポジウムの報告があった。

3. 自然災害資料センター報告 26 号の原稿募集について

5 名の先生が、原稿執筆・原稿依頼が可能であるとのこと。

・緑川先生－建物被害調査

・藤吉先生－気象台に原稿を依頼

・谷岡先生－東日本関係

・田中先生－タイの洪水について山田先生に原稿を依頼

・尾関先生－地区フォーラム（平成 24 年岩見沢大雪）の報告

上記に加えて、後日、地震火山研究観測センターの西村先生より、原稿を寄稿いただける旨のご連絡があった。

4. センター業務報告並びに平成 24 年度予算中間報告

野田事務員より報告があった。

## ○業務報告

- ・資料の貸し出し 2件
- ・幹事会日程調整、案内状送付、旅費の申請、資料作成、議事録作成、議事録送付  
資料室の整理、貸し出し履歴の整理

## ○予算中間報告

添付資料に基づいて報告があった。

## 5. 総会特別講演について

講演者二名の先生が候補にあがつた。

- ・林川先生
- ・早坂先生

(後日岡田センター長より依頼し、二名の先生より快諾を得た。)

## 6. センター（北海道地区部会）の業務

## (1) 北海道地区研究者ネットワークの再調査

幹事宛に、新規会員募集等についてのメールを送信する。

北海道地区の構成員全員に連絡先等の確認のためのメール配信を予定する。

## (2) Web 情報公開

センター報告を Web 公開する準備をする。

## 7. 最近の自然災害に対する調査の可能性

岡田センター長より、防災研に申請するという道もあるということが紹介された。

## 8. 地区フォーラムについて

北海道教育大学 尾関先生より、12月16日（日）に岩見沢において開催される北海道地区フォーラム『平成24年岩見沢大雪講演会』についての案内があった。

## 9. その他

## (1) I A E E の意見書について

岡田センター長より、イタリア・ラクイア地震に関する I A E E の意見書について紹介があった。

## (2) 2013年度日本自然災害学会学術講演会について

岡田センター長より、2012年度学会懇親会での挨拶について報告があった。

高井委員より、2013年度学会日程調整・開催場所について報告があった。

北見工業大学で開催する方向で再度日程調整を行うこととなった。

## (2) 出版活動

北海道地区自然災害科学資料センター報告 v o l . 2 6 号の刊行（2013年3月）

### (3) 2012年度地区フォーラム

自然災害シンポジウム：平成24年12月16日(木) 参加人数：43名

テーマ：防災フォーラム「平成24年岩見沢大雪」講演会

主 催：自然災害研究協議会北海道地区部会、日本雪氷学会北海道支部

場 所：市民交流施設であえーる岩見沢

### (4) 地区総会

総会：平成25年3月29日(月) 15:00～15:30

北海道大学大学院工学研究科 A101会議室

15:00～15:30 地区総会

15:30～17:00 特別講演会

#### 特別講演会

・早坂 洋史 先生（北海道大学大学院工学研究院）

『小さな炎から大きな炎による自然災害』

・林川 俊郎 先生（北海道大学大学院工学研究院）

『耐震設計の変遷と長大橋の現状』